

7章 景観まちづくりの進め方

1. 景観まちづくりの考え方

俱知安町内では「景観」の名を意識せずとも、町民や俱知安町を大切に思う人たちが、町のことを深く知り、身の回りの日常生活空間を整え、豊かな自然を楽しむ活動を通じ、地域への愛着を育んできました。

庭や敷地で草花を植えて楽しむ人、豊かな森林資源に触れる機会を提供してくれる人、散策路などの修繕をしてくれる人、農地を維持してくれる人、ごみ拾いや清掃活動をしてくれる人、街路や公園を植物で彩ってくれる人、まちをイルミネーションで賑やかにしてくれる人など、俱知安町の景観づくりは、行政が何か特別なことを新たに始めることなく、こういった町民一人一人の日々の暮らしや営み、活動の中にあるもので、それらの積み重ねにより、皆に愛される町へと少しずつ変わっていきます。

ここに挙げるさまざまな活動を知り、触れ、参加することで、町民全体が大きな輪としてつながり、俱知安町がより魅力的なまちとなるよう景観まちづくりを進めていきましょう。



2. 景観まちづくりの取り組み

倶知安町には現在、「2章 倶知安町の景観特性」で紹介したもの以外にも、景観まちづくりにつながる取り組みが展開されており、それらの取り組みを基本方針ごとに整理しました。

また、取り組みの性質から「知る・つたえる」、「つなぐ」、「たのしむ」、「つくる」、「はぐくむ」、「まもる」、「うけつぐ」、「ととのえる」といったキーワードを導き出し、どの性質をもった取り組みであるかを分類し、紹介します。

(1) 豊かな緑と水いかす【自然・地形】

1) 身近にある自然にふれる機会の創出

「ふるさと」を象徴する美しい自然環境は、倶知安町のあらゆる景観の基礎であり、我々の心の原風景でもあります。百年の森をはじめ、町内に生息する身近な動植物について知り、豊かな自然に親しむことができる刊行物や体験講座が数多くあります。



○取り組みの例

【百年の森に生息する動植物の観察・調査研究】(主体：百年の森ファンクラブ)

【ネボスケ通信—百年の森だより】

百年の森の管理人が作成し、百年の森に生息している動植物の紹介や自然講座などのお知らせを載せた通信紙。町広報により発信されていた。

【倶知安双書】

倶知安風土研究会が発行したもので、地域にあった植物や植生などが記録された小冊子群「羊蹄植物誌」「二セコ植物誌」「野草の四季」を-改訂版・増補改訂版-の名で再版。

【ふるさと探訪】

地域の身近な自然や歴史について、歩いて学ぶフィールドワーク。

【寺子屋ミュージアム／いきもの調査隊】

小中学生が倶知安の自然の良さを知り、自発的に調査や発見を体験する場を提供。

【自然講座】(主体：百年の森ファンクラブ)

身近にある自然、主に百年の森に生息する動植物や自然環境が学べる講座。

【木の曜日講座】(主体：百年の森ファンクラブ)

木曜日に開催される講座。倶知安の自然や地域の文化、歴史に関するテーマで開催。

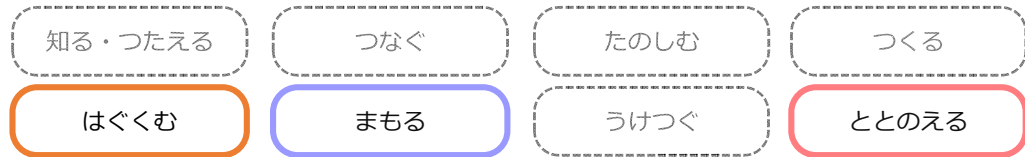
写真

写真

写真

2) 自然環境に対する保全活動の推進

緑豊かな森林を保つため、主に植物にとって良好な生息環境を取り戻すことができるよう、外来種の除去および在来種の保全活動を行い、開発行為等により徐々に減少がみられる町内の自然環境を保全・維持するための活動です。



○取り組みの例

【「百年の森」保全活動】（主体：百年の森ファンクラブ）

自然に近い形で倶知安の“森”を再生するため、育林や外来種植物の除去活動などを行う。

【コマクサの除去活動】（主体：ニセコ羊蹄山岳会）

羊蹄山の国内外来種コマクサについて、除去活動を行う。活動内容の冊子を作成。

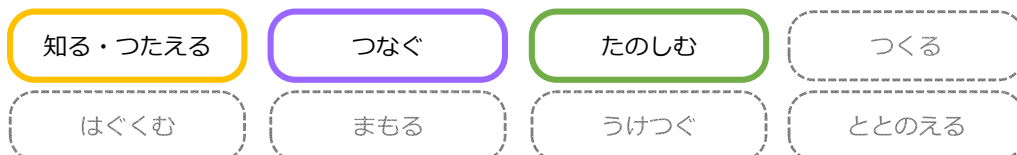


（２）四季折々に表情を変え、営み豊かな農業【農林業】

１）農業に関する情報発信および啓発

倶知安町が誇る農業景観を伝え、保全していくための情報発信及び啓発活動として、毎年倶知安町農林課が中心となり、町のホームページで馬鈴薯の花が綺麗に見られる時期や場所についての情報発信をしているほか、馬鈴薯の花を見に来た人たちが農地へ入ってしまうことで引き起こされる病害虫の蔓延を防止するため、立ち入り禁止看板の設置をしています。

また、町内外の人に町の農業を周知し、農業を活性化していくため、農業関係団体と連携した農作物の販売やイベントなどのPR活動をし、観光業にもつながる取組を展開しています。



○取り組みの例

【“じゃがいもの花”情報発信】

町のホームページにて馬鈴薯の花が綺麗に見られる時期や場所の発信を行う。また、農地への侵入による病害虫の蔓延を防ぐため、立ち入り禁止看板を設置する。

【二セコ朝市】（主体：倶知安観光協会）

倶知安・二セコの農産物を提供し、農林と観光のつながりを強化する取組。

【JA ようてい農業祭】（主体：JA ようてい）

ようてい産農作物の即売会やステージイベントをJA ようてい前駐車場で開催。

【しりべし「酒と肴と旅」プロジェクト】（主体：後志観光連盟／関係団体：後志総合振興局）

美味しい食べ物が多い後志であるため、「酒と肴」をテーマとした観光のイメージの定着に向けた団体間の連携など取組を行う。

【倶知安米のPR】

町民に向け、スーパーでの試食などによる“倶知安米”PR活動を行う。

【倶知安双書】

倶知安風土研究会が発行したもので、倶知安の特産品である馬鈴薯のことが記載された小冊子群「じゃがいもの話」を-改訂版・増補改訂版-の名で再版。

写真

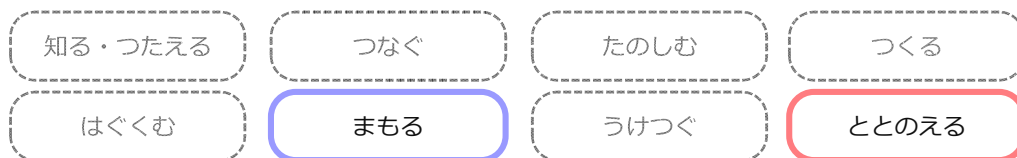
写真

写真

2) 農業環境や地域資源の適正な維持管理につながる取り組みの促進

倶知安町を象徴する農業景観を守っていくには、農地の適正な維持管理は欠かせません。その為には、町が有する豊富な自然資源の有効活用のみならず産業としても町内における好循環を生み出していく必要があります。

現在、町内では、国の制度を活用した農業就業者の負担軽減や農業および農地の再生・継続につながる補助や、農業の継承や後継者育成につながる支援を行っています。



○取り組みの例

【農業の生産力・経営力向上への支援】（関係団体：農業協同組合、土地改良区、農業共済組合 など）
馬鈴薯用薬剤や堆肥購入、農業経営改善指導などに対し、補助を行う。

【農業の次世代への支援】（関係団体：倶知安町農業後継者対策協議会）

経営の継承や後継者が農業大学に修学できるよう、奨学金や補助を行う。新規就農者への独立に必要な支援を行う。

【農業・農地の再生・継続につながる支援】（主体：倶知安町農業再生協議会）

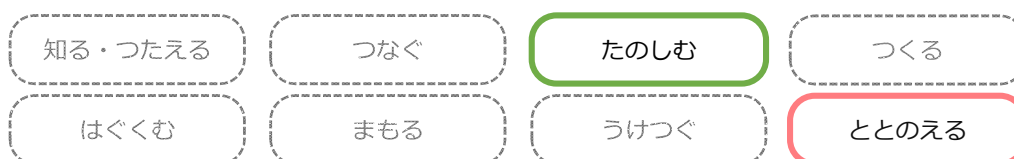
畑や農家としての状態を鑑み、転作田・転換畑への支援、国内の自給率の低い作物の供給や水田の収益強化について、国の補助を活用し支援を行う。



3) 森林資源の循環利用の推進

倶知安町では、町有林に対して計画性を持った伐採・植樹を行い、一般民有林に対して伐採跡地への植栽に助成を行うなど、秩序ある森づくりのための取組を実施しています。

また、地域材を使った木工等の体験などを通して、町民が地産地消の意識を持ち、地域が有する貴重な資源に目を向ける機会を創出し、森林資源の循環利用を勧めています。



○取り組みの例

【地域材を利用したものづくりが体験できる場の提供】（主体：しりべし・くつろ木の会）

産業振興や地球温暖化の防止への寄与を目的とし、地域材利用の要望やイベントにて地域材を利用したものづくり体験ができる場の提供を行う。

【町有林の管理】

町有林は、計画性を持って伐採・植樹を行う。

【民有林の植栽に対する助成】

秩序ある森づくりとするため、一般民有林に対し、伐採跡地への植栽に助成を行う。

写真

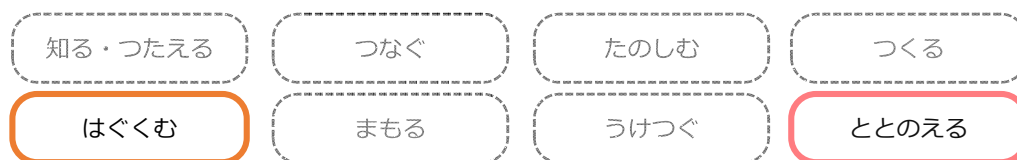
写真

写真

(3) 住みよい生活環境と潤いのある都市づくり【まちの基盤】

1) 生活環境の向上につながる景観づくりの推進

町民の心に寄り添った心地の良い景観は、日々の暮らしに彩りを加え、生活を豊かに感じさせてくれます。町内では、花植えや草刈り、清掃活動、公園等の維持管理、空家・空地等の適正管理など、良好な景観形成のための取り組みが実施されています。



○取り組みの例

【クリーン作戦】(主体：町内会、サークル、教育機関、企業、個人等)

特にごみが目立つ春に、各町内会で無料のごみ袋を使用し、ごみ拾いを実施する。また、任意で尻別川のごみ拾いを行う。

【春のどんぐり公園清掃】(主体：ロータリークラブ)

春先に子どもたちが気持ちよく遊べるように公園内のごみ拾いや清掃を行う。

【花壇づくりの促進】(主体：花と緑のまちづくり推進委員会／関係団体：倶知安町社会福祉協議会)

花苗や床土の配布、花植えなど、フラワーマスターを筆頭に花壇づくりの促進を行う。普及・啓発の取り組みとして花壇コンクールを行う。

【フラワーマスターの推奨、育成】

(主体：花と緑のまちづくり推進委員会／関係団体：倶知安町社会福祉協議会)

美しい花壇づくりを行うため、知識と技術を有する者を知事認定のフラワーマスターに推奨する。

【都市公園等の管理】

遊具の点検・清掃、下草刈り、花壇づくりなどを行う。

【旭ヶ丘保健保安林の維持管理】

旭ヶ丘公園の森林レクリエーション活動の場、生活にゆとりや安らぎを提供する場として、遊歩道の維持管理を行う。

【空き地、空き家対策事業】

倶知安町、蘭越町、ニセコ町が共同で策定した「ようてい地区活性化計画」や「倶知安町空家等対策の推進に関する条例」、「倶知安町空家等対策計画」による適正管理。

【道路除排雪体制】

町が町内建設業者に委託を行い、町道の除排雪を行う。

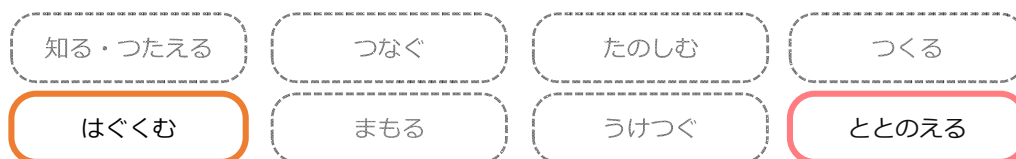
写真

写真

写真

2) 地域特性に対応した魅力的なまちづくりの推進

水資源の豊かさを活かした水道の供給や、市街地の流雪溝の管理、リゾート地域の無電柱化など、地域の特性を活かしたまちの基盤整備を行っています。



○取り組みの例

【羊蹄の湧水を利用した水道の安定供給】

羊蹄山の麓に自噴した良質な水を取水し、法定上最低限必要な塩素により滅菌を行い、後志管内でも安価な水道料金で配水。（高砂水源・豊岡水源）

【流雪溝の管理】（主体：倶知安町流雪溝管理運営協議会（市街地の幹線道路沿いの住民・会社・団体））

倶知安町の豪雪対策として幹線道路に設置した流雪溝を合理的かつ効率的な雪処理とするための管理を行う。

【水道施設の見学】

小学校から毎年見学希望がある水源地・下水処理場の見学案内を行う。

【無電柱化の計画的な推進】

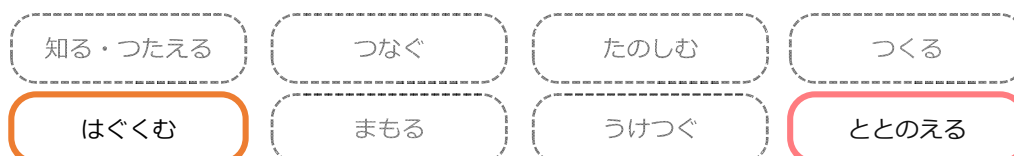
特にリゾートエリアを中心に無電柱化を推進しており、まちなかも計画的に進められている。



3) 自然環境と農業風景を活かした沿道景観づくり

沿道からの眺望は、倶知安町の魅力のひとつであり、良好な景観を維持していくことは、まちの印象を高めていくことにつながります。

シーニックバイウェイ「秀逸な道」に指定された区間では、シーニックバイウェイ活動団体による美化活動が、農業地域では、地域資源保全隊による清掃活動などが実施されており、地域特性を活かした沿道景観づくりが展開されています。



○取り組みの例

【シーニックバイウェイ活動】

（主体：シーニックバイウェイ活動団体（WAO ニセコ羊蹄再発見の会）／関係団体：小樽開発建設部 等）
国道のビューポイントパーキングの草刈り、シーニックナイトの実施。

【地域資源保全隊の活動】（主体：地域資源保全隊）

農用地、農道、水路など農業施設や農村環境の保全活動を実施。



写真



写真



写真

（４）産業や人の営みを感じる資産の魅力を高める【暮らし・産業】

１）自然環境を生かした持続可能なリゾート景観の形成

リゾート地である倶知安町では、自然資源を活用したスポーツやアクティビティが盛んで、年間を通して多くの人が訪れています。

倶知安町の美しい景観を見て体感してもらうため、このような観光交流事業のほかに、クリーン作戦などによる観光資源かつ景観資源の改善活動も行っています。



○取り組みの例

【自然資源を活用したスポーツやアクティビティ】（主体：各事業所、個人）

スキー・ラフティング・グランピング、サイクルツーリズム、登山などのレジャーを楽しむことができる。

【ニセコ山系クリーン作戦】（主体：ニセコ山系観光連絡協議会）

アンヌプリや道道倶知安ニセコ線（自然公園内）など道道のごみ拾いや登山案内看板の修繕を行う。

【ニセコひらふエリアのおもてなし空間の取り組み】

（主体：ニセコひらふエリアマネジメント／関係団体：倶知安観光協会）

ひらふ坂やローワーヒラフなどで清掃活動や安全確保を目的とした除草作業を実施し、ひらふ高原中央公園に『NISEKO』の花文字、フラワータワーなどを設置・管理。ひらふ坂には移動式プランターによる花、ハロウィンの装飾、イルミネーションの季節ごとの演出を行う。

【ハイキングコースの維持管理】（主体：倶知安観光協会）

ひらふハイキングコース、鏡沼コース、半月湖遊歩道などの草刈りや補修を行う。

【サイクルツーリズムの環境整備】（主体：羊蹄ニセコ自転車協議会／関係団体：倶知安観光協会）

案内看板の設置やコース紹介動画のアップ、ガイド育成を行い、誰でも気軽に楽しむことができる自転車環境づくりを行う。

写真

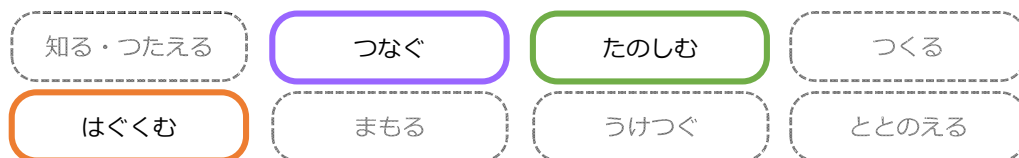
写真

写真

2) 交流を通じた景観形成の促進

倶知安町の自然や地形を活かし、豊富な農作物や豪雪にまつわるお祭りなど、さまざまなイベントが実施されています。

それらのイベントは、町民と観光客だけでなく、町民同士や観光客同士の交流の場ともなり、倶知安のまちを賑やかにしてくれています。



○取り組みの例

【農業体験】（主体：）

（文章作成中）

【ニセコオータムフードフェスティバル】（主体：ニセコプロモーションボード）

ニセコエリアの旬の素材を使った出店や子供が遊べる遊具、ミュージシャンによる演奏の実施。

【ひらふ祭り】（主体：ニセコひらふエリアマネジメント／関係団体：倶知安観光協会）

サンスポーツランドくっちゃんにて、地元農産物販売や近隣店舗の屋台、羊蹄太鼓と花火のパフォーマンスを行う。

【各種ロードレースなど】

- ・ネイチャーライドニセコ：旭ヶ丘公園スキー場より、景色を楽しみながら地域の名産品を味わえるサイクルイベントの実施。
- ・ニセコヒラフたいまつ滑走：大晦日にひらふスキー場にて、スキーヤーやスノーボーダーがカウントダウンや花火を実施。
- ・ニセコクラシック：ひらふスキー場からのコースを国内外の市民レーサーが競う本格的なロードレースの実施を行う。
- ・HANAZONO ヒルクライム：市街地からのコースを国内外の参加者がロードバイクやMTBで走るレースの実施を行う。

【フットパス】

- ・ウォーキングマップ：ニセコアンヌプリ周辺のウォーキングコースを掲載。
- ・ニセコ湖沼ウォーキング（発行：ニセコ山系観光連絡協議会）：ニセコアンヌプリ周辺から岩内温泉郷の間にある湖、沼、山々のウォーキングコースを形成。
- ・ニセコサイクリングマップ（発行：ニセコ観光協議会）：羊蹄山麓の6コースを紹介。

写真

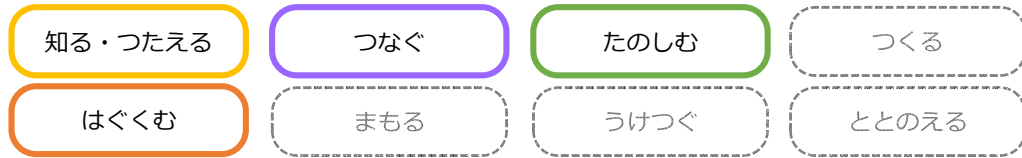
写真

写真

3) 景観資源の魅力発信

町では、倶知安町やニセコ観光圏（倶知安町・ニセコ町・蘭越町）の自然やスキー場や温泉、飲食などを載せた観光ガイドブックの作成・配布をしており、それらは町のホームページから電子パンフレットで閲覧できます。

他にも、三島さんの芝ざくら庭園の情報など、倶知安町の魅力を積極的に発信しています。



○取り組みの例

【観光ガイドブック・パンフレットの配布】

- ・ニセコエリアナビ(倶知安町観光ガイドブック)：夏や冬のアクティビティや自然情報、イベント、アクセス、歴史情報まで紹介。
- ・KUTCHAN Natural Wonderland：倶知安の見所やグルメを紹介。
- ・ニセコ観光圏マップ（倶知安版）（発行：ニセコ観光圏協議会）：倶知安市街地・ひらふ地区ほか、ニセコ観光圏付近の情報を掲載。
- ・ニセコ温泉ガイド（発行：ニセコ観光圏協議会）：ニセコ山系、羊蹄山麓の温泉施設を紹介。
- ・羊蹄山パンフレット（発行：羊蹄山管理保全連絡協議会）：羊蹄山登山に必要な情報を掲載。
- ・ニセコエクスプレス（発行：ニセコ山系観光連絡協議会）：ニセコアンヌプリ山麓の5町（倶知安町、ニセコ町、蘭越町、共和町、岩内町）の観光情報を紹介。

【三島さんの芝ざくら情報の発信】

町のホームページで、三島さんの芝ざくら庭園の開花経過をお知らせしている。

【景観資源マップ】（主体：）



4) 暮らしに豊かさ、賑わいにつながるまちづくり

倶知安町には昔から地域に根付いたお祭りが 있습니다。それは町民の心の風景となり、まちだけでなく暮らしにも賑わいをもたらしてくれています。

近年では、地域特性にあったより快適な暮らしの構築に向け、「くっちゃん型住宅」も周知しています。



○取り組みの例

【くっちゃん型住宅の周知】

町の地域特性に配慮、高齢化や省エネに対応した住宅を建てる場合に補助を行う。

【くっちゃん ジャが祭り】(主体：じゃが祭り実行委員会)

町の特産品「くっちゃんじゃが」をテーマにした祭り。毎年夏に駅前通りで開催する。

【雪トピアフェスティバル】(主体：雪トピアフェスティバル実行委員会)

中央公園にて水面滑走トライアル、雪だるまコンテスト、出店を豪雪の中で実施。

【倶知安金毘羅祭り】(主体：倶知安金毘羅寺)

メルヘン通りにて露店が 100 軒ほど出店され、金毘羅寺では「火渡り」の儀式を行う。

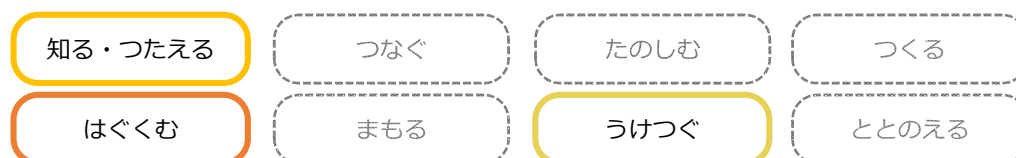
【倶知安神社例大祭】(主体：倶知安神社)

御神輿や渡御、無形民俗文化財である赤坂奴やこども奴が町内を練り歩く。



（５）育んだ地域への愛着を次の世代につなげる【人々の愛着・文化】

１）一人一人の美しい行動による景観文化の構成



○取り組みの例

【】（主体：）

【】（主体：）

【】（主体：）

【】（主体：）

写真

写真

写真

２）町民の意識向上につながる取り組みの推進

俱知安町らしい景観を守り、より理想的な景観を作っていくためには、町民が自分たちの住む町の景観について関心を持つことが必要不可欠です。

現在、俱知安町の歴史を伝えるための情報発信や、講座が開設されているほか、地域に伝わる文化の伝承活動が行われ、まちへの愛着を育むことにつながる機会をつくっています。



○取り組みの例

【漫画くっちゃん昔話制作】（主体：倶知安観光協会）

町の自然やまちの成立ち・発展などが、年齢問わずわかりやすく伝わる漫画を作成。

【倶知安町寿大学】

町内の65歳以上を対象とし、町に関連するものの鑑賞や講演など生涯学習事業の実施。

【公民館文化講座「羊蹄太鼓」等】

倶知安町無形民俗文化財である「羊蹄太鼓」についての講座を行う。

【くっちゃん羊蹄太鼓の保存】（主体：くっちゃん羊蹄太鼓保存会）

無形文化財として継承、永久保存、郷土愛の高揚、後継者育成、道内への普及等を行う。

【絵画コンクール「ふるさとを描こう」】（主体：小川原脩記念美術館）

後志管内の小・中学生を対象に、「ふるさとの風景」を描いた作品を募集し展覧会を開催。

【倶知安町赤坂奴の保存】（主体：倶知安町赤坂奴保存会）

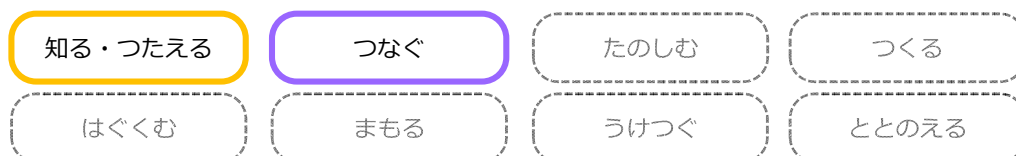
無形文化財として継承、郷土愛の高揚を図り、未永く保存することを目的に活動を行う。



3) 景観まちづくりの次世代を担う人材育成

倶知安町の景観の成り立ちを学ぶことは、自分たちが暮らす町のことへの理解を深め、町への愛着や誇りを持つきっかけとなるだけでなく、町が誇る美しい景観を次世代に引き継いでいきたいという気持ちを育むことにもつながります。

そうしたことから、現在倶知安町では、町の自然、農林業、歴史文化などが形づくる景観について体験し学べる取り組みを行っています。



○取り組みの例

【世代間交流】（主体：町内老人クラブ連合）

子供たちに昔の遊びを伝えるなど、世代間交流を行う。

【世代交流ふれあい教育】

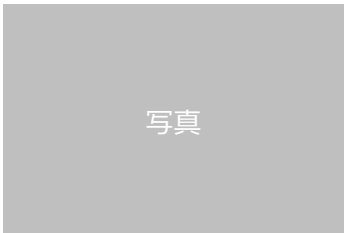
小学校の行事や総合学習に高齢者が参加する際の経費を助成する。

【くっちゃんワンダーキッズ】

町内の小学５学年を対象にした、町内の自然・文化・スポーツなどを「直接体験」の実施を行う。

【くっちゃん町子ども特派員派遣事業】

町内の小学５学年が他自治体を訪問し、観光地としての違いなどを学び、発表を行う。



写真



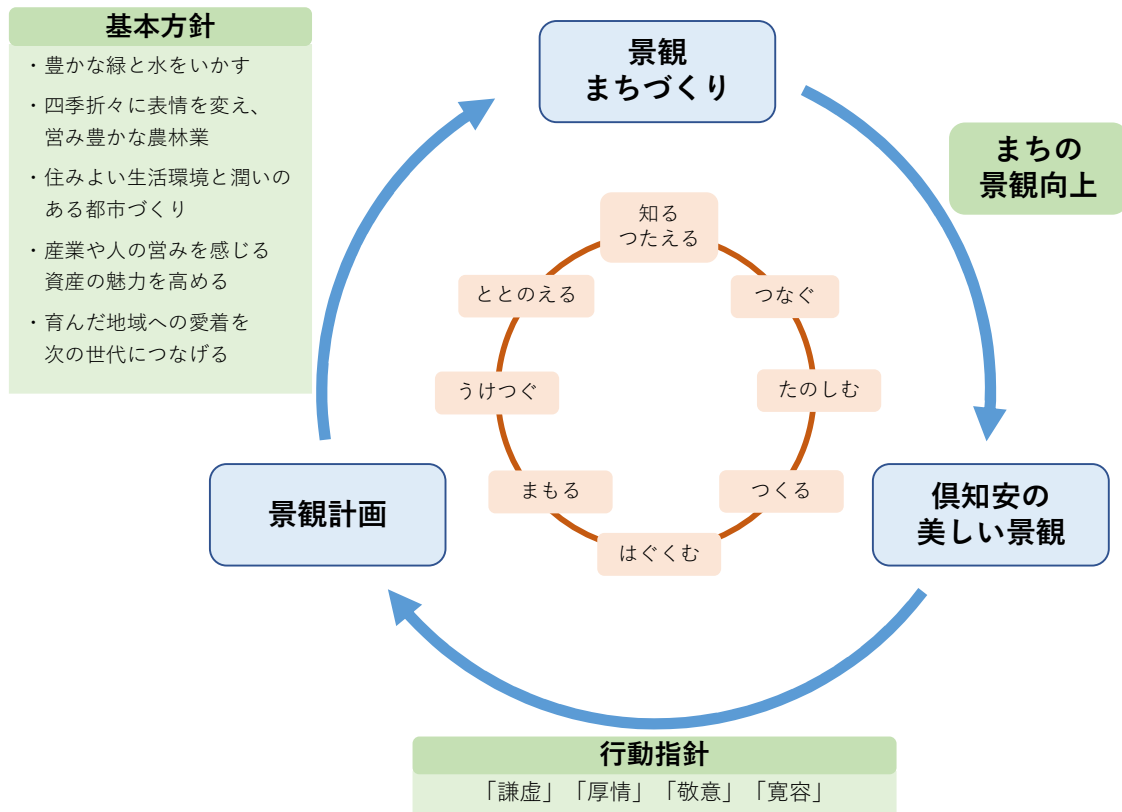
写真



写真

3. 広がる景観まちづくり

倶知安町の景観をより良くしていくために、倶知安町の景観まちづくり活動を広げていくためには、景観まちづくりについて町民・事業者・活動団体・行政が自分事として捉え、積極的に取組を進めていくことが大切です。



“あなたと私で広げる景環”